

定年まで元気に働ける職場へ 全社をあげて健康意識をアップし

株式会社ヨシダ商事運輸



毎月発行される「ヨシダ衛生ニュース」は従業員の健康意識向上に役立っている。

株式会社ヨシダ商事運輸は、1971（昭和46）年より冷凍食品輸送を手がけ、チルド（冷蔵）・フローゾン（冷凍）食品の同時輸送を可能とする「TWINCOLD（二層式）」車両をいち早く導入するなどこの道のパイオニアとして成長。同時に正確、安全、迅速な輸送とプラスアルファのサービスを積み重ねて信頼を構築してきた。現在も、冷蔵・冷凍の温度管理が必要な運送に特化した食品専門の運送事業を行い、24時間365日、人々の食生活を支えている。

社員数は160人。このうち約140人がドライバーで、約20人が事務員と管理職。車両保有台数は142台である。

同社は、仕事の原点は人であるという考えから「人材」を「人財」として大切に、男女ともに働きやすい職場づくりを進めて、勤務環境の整備や多様な社内セミナーの実施などに取り組んでいる。また、「定年まで元気に働ける環境づくりを進めていく」という社長の方針のもと、「健康で快適な職場づくり」の実現を重点目標に掲げて社員の健康増進に努め、2017年度、2018年度ともに「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」の認定を受けている。

健康診断の受診率100%、全ドライバーに対する年2回の健康診断の実施、有所見者に対するフォローアップ、保健指導対象者の受診率100%への取組、「ヨシダ衛生ニュース」（社内報）の発行などが評価された。

同社のこれらの取組の実際について、人事課長の福島二郎さん、労働衛生の取組を中心となって進めている小山英悟さん、総務課長の小林奈緒子さんにお話を聞いた。

健康で快適な職場づくりへの取組

健康経営優良法人の認定を受けた同社のおもな取組を見てみよう。

・年2回の定期健康診断の実施と受診率100%

健康増進と交通事故防止のために、深夜業に従事するドライバーだけでなく全ドライバーに対して5年前から定期健康診断を年2回実施しており、受診率は100%である。

100%達成の背景には、現場の管理者の協力を得るため、熱心かつ地道に呼びかけを続けてきた努力がある。「以前は、忙しいから受診なんて無理、という声もありました。しかし、各現場の管理者に定期健診の重要性を1対1で伝えて、機

会があるたびにコミュニケーションをとって話をしていくうちに、だんだん健康管理に対する管理者の意識が変わり、いまでは早めに準備をしてくれるようになりました」と小山さんは言う。高い意識を共有することができた背景にはもう1つ、社長が健康づくりを重要視していることを全社員に伝えていることも力になった。

また、どうしても定期健診日に受診できない場合は、一人ひとりの後日の受診日時を小山さんが病院と連絡を取って調整するというフォローも行っている。

なお、保健指導対象者への保健師による指導にも力を入れ、各現場管理者の協力を得てここでも100%を達成している。

・予防接種費用の補助などを実施

インフルエンザ予防接種を受けた社員に対して、費用の一部補助を実施している。定期健康診断では、法定の項目に加えて胃部検診を35歳以上の社員を対象に導入し、実施している。今年4月には、禁煙のための専門外来に通う社員に対して、かかる費用を補助する取組も開始した。

・「ヨシダ衛生ニュース」を毎月発行

その時期に適した健康や安全、食生活のアドバイスなどの情報を伝える「ヨシダ衛生ニュース」を毎月発行。手渡しをする給与明細に同封して全社員に提供している。給与明細と一緒に渡す目的は、「家庭で家族も一緒に健康づくりへの関心を高めてほしい」と考えてのことだった。ニュースの企画、製作はともに小山さんが担当している。

ほかにも本社の建物の全面禁煙化、外部から講師を招いて健康や食事などに関するセミナーの開催、産業医と面談する「健康相談日」の設置、各営業所に血圧計を設置して1日1回血圧測定をしてもらうようにするなどの取組により、社員の健康意識の向上を図っている。

安全確保、労働時間短縮への取組

同社では、全日本トラック協会が安全に関する取組を評価して優良な事業所を認定する「Gマーク事業所(安全性優良事業所)」を本社、営業所ともに取得しており、長時間労働の防止には、この認定に基づ

いた適正な勤務・乗務時間と休息時間の管理が行われ、さらに労働時間短縮に向けて現在、「社長と業務担当者、人事担当者が一体となり、労働時間の短縮と完全週休2日制、そして週休3日制導入の可能性について検討しています。人材を増やすことと働き方の改革により、具体的に進めていく方針です」と福島さんは説明する。

運送業界は人手不足がより深刻といわれているなか、同社では2018年度に7人の新入社員を迎えた。今後、健康経営優良法人認定などの継続に向け努力し、そのことを自社のアピールポイントに加えて人材確保につなげていきたいとも考えている。

予防を重視して取組体制を強化

健康増進の取組では、これからはさらに「予防」を重視して進めていく方針という。

福島さんは、「社長が語る方針や言葉をキーワードにして、取組に工夫をこらして提案し、全社に向けて地道に働きかけることを大事にしたい」と今後のスタンスを語る。

小林さんは、「栄養や食生活の大切さを伝えていきたい。また、『くるみん』の認定を取得していますので、このことも含めて女性の働きやすい職場環境づくりに力を注いでいきます」と取組への意欲を示した。

小山さんは、「予防の意識をいかに高めていくかが課題。ヨシダ衛生ニュースの内容に工夫を重ねたい。それから今後も健康診断の大切さを現場の管理者と共有し、健診の結果なんでもなかったよ、という社員を増やしていきたい。そして、社員の健康促進のために社内にスポーツジムをつくることを提案しています」と元気な表情で話してくれた。

会社概要

株式会社ヨシダ商事運輸

事業内容：食品運送事業、一般貨物運送事業、利用運送事業、
ピッキング・仕分け作業・梱包事業

設立：1971年

従業員：160人

所在地：兵庫県西宮市